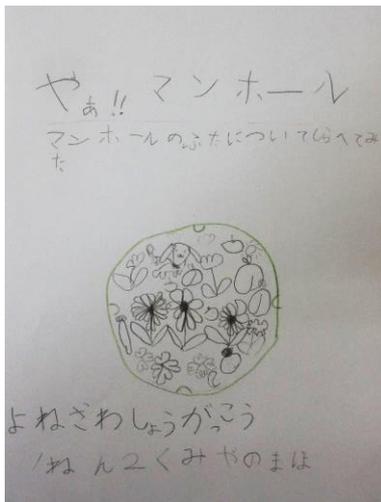


作品紹介 その2

📌 佳作



『やあ!! マンホール』

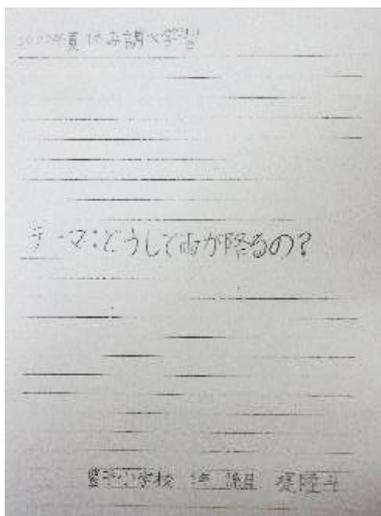
マンホールのふたについてしらべてみた』

米沢小学校 1年 ^{やの} ^{まほ} 矢野 舞歩 さん

テレビを見ていて気になった足元のマンホール。点検するための入口かな?と調べ始めた舞歩さん。

まず気になったのは、ふたの形や大きさ。マンホールのふたがどうして○なのか、折り紙を○と□に切って比べ、わかりやすくまとめています。また、水道課でいただいたマンホールカードから、ふたのデザインに目を向け、デザインに秘められた楽しい発見もありました。

通学路にある全部のマンホールの役割について、市役所ではなしをきいたり、写真を撮ったりしながら、詳しく調べまとめられた作品です。



『どうして雨が降るの?』

豊平小学校 1年 ^{つつみ} ^{りくと} 堤 陸斗 さん

「雨ふりだとあそべなくていやだな。なんで雨がふるの?できれば晴れが続いてほしい」という、素朴な疑問。

「いつも雨が降るときは、黒い雲のときだから、黒い雲のときに雨が降る」と予想をたてて調べました。

雨がふるしくみを、本を読んで調べたり、毎日天気の記事をとったりして、自分の予想と比べながら、ていねいにまとめられています。

1年生にとっては難しい言葉もたくさん出てきたようですが、本の挿絵を参考にしながら、「なんとなくわかってよかった」と、自分の言葉でまとめることができました。



『いくつしてる? ふくしマーク』

永明小学校 2年 ^{みやさか}宮坂 ^{りお}莉緒 さん

下校中に見た車についているいろいろなマーク。家の人に聞くと『年齢や体が不自由なことなどを表している』というけれど、他にもあるのかな?と、調べ始めました。姉妹で同じテーマに取り組み、お姉さんと一緒に取り組んだ調べ学習です。

身の回りにあるいろいろなマークから、福祉マークに注目し、ひとつひとつのマークが持つ意味を、自分なりに予想してから、本や資料を使って、ていねいに調べることができています。自分でマークをかいたり、市内のどんなところにもどんなマークがあるか、実際に自分の目で確かめたりしたことが、良くまとめられた作品です。



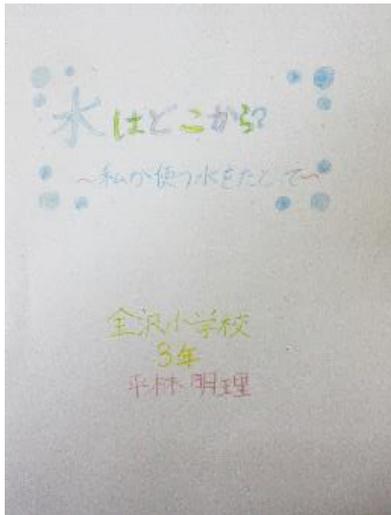
『どこへいったの? ブドウの種』

~みんな大すき ^{わたなべ}種なしブドウ~
永明小学校 3年 ^{ころこ}渡邊 心 さん

お母さんが買ってくるぶどうを食べながら、「ぶどうにはたねがあるはずなのに、どうして種なしなの?」と生活の中から生まれた疑問。

「種なしブドウは、ジャガイモみたいに、実を植えると生えてくるのでは?」と自分の経験を元に予想を立てて調べました。

本を使って、ブドウはどんな植物なのか調べ、その知識をもとに、作る人や売る人などいろいろな人から聞いて確かめていきます。調べる中で、食べやすく売れるブドウを作るための農家の方々の苦勞に気づきました。分かったこと、気づいたこと、考えたことがよく整理され、しっかりとまとめられた作品です。

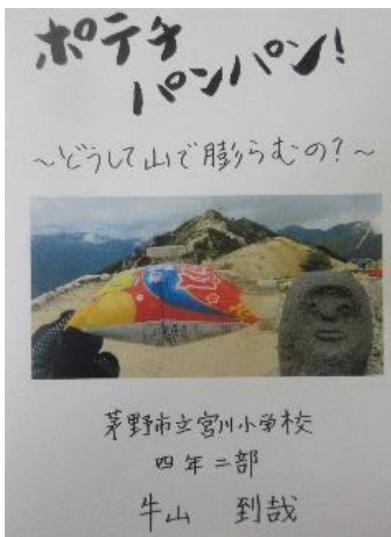


『水はどこから? ~私が使う水をたどって~』

金沢小学校 3年 ^{ひらばやし} 平林 ^{あかり} 明理 さん

自宅に備蓄されている水から、いつも自分が使っている水はどこから?そもそも水って何?と疑問を持った明理さん。自分の家の水は八ヶ岳の雪解け水だろうと予想して調べ始めました。

本で調べたり、水道課で話を聞いたりする中で、自然の水を飲料水にして家庭に届けるために、様々な工程があることを知り、実際に水源から自宅までの施設をたどると新たな発見もありました。さらに、調べてわかったことから、水をめぐる問題へとつなげながら見通しをもって深めていき、自分の考えがよくまとめられた作品となっています。



『ポテチパンパン! ~どうして山で膨らむの?~』

宮川小学校 4年 ^{うしやま} 牛山 ^{とうや} 到哉 さん

山の上で気になったポテトチップスの袋。「なぜ、山の上だと膨らむのか」という疑問を、理科の「空気」の学習と結び付けて「冷やすと空気の体積は減るはず。それなのに膨らむのは、温度以外の原因があるのではないか」と予想をたてて、調べました。

山が好きな家族は『気圧』のせいだろうと言い、山小屋の代表が、「ポテトチップスだけでなく、なんでもそうなるよ」と教えてくれたことから、本を使って気圧について詳しく調べています。気圧を調べるうちに、生活の中で、気圧の変化を利用したものがあることに気づいたり、山に登っても膨らむものと膨らまないものがあることを確かめたりと、追究を深めることができました。調べたり実験したりしたことを、グラフや写真を使って、わかりやすくまとめられています。体の変化にも目を向けて、より深く追究することのできた作品です。



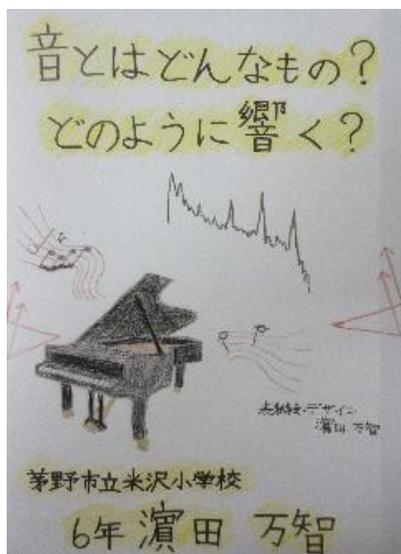
『牛と地球温暖化』

～牛が地球にめいわくをかけてる?～』

豊平小学校 5年 ^{かわせ}川瀬 ^{ともこ}智子 さん

牛乳が大好きなことから酪農に興味を持って読んだマンガ。そこから牛への関心が高まったある日、母から聞いた「牛のげっぷが地球温暖化の元になるらしいよ」という話。それじゃ大すきなお肉も牛乳もなくなるの!?!と、一番身近な「食」から生まれたテーマは、読む人を引き付ける力があります。

「牛」が地球の敵にならないようにする方法があるはず!と、地球温暖化を知ることから始まった調べ学習です。畜産・地球温暖化と、一つ一つ考察を加えながら深まっていく過程は、読む人も一緒に追究している気持ちになります。本で調べたことと現地で調査したことを合わせながら考察し、足りない情報をさらに調べ、自分の考察がしっかりまとめられた作品です。

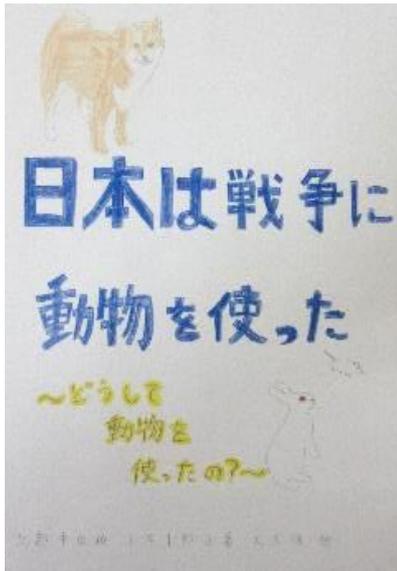


『音とはどんなもの? どのように響く?』

米沢小学校 6年 ^{はまだ}濱田 ^{まち}万智 さん

合唱コンクールの練習で、「体育館で歌うと音楽室より響くのはなぜ?」と生まれた疑問。理科の時間に学んだ「音の伝わり方」と音楽室の壁にあるたくさんの小さな穴をヒントに予想をたてて調べています。合唱やピアノ演奏の経験から場所による音の響きの違いに着目する感性が、素晴らしいです。

本で「音」そのものについて詳しく調べ、調べたことをもとに、ホールの残響に目を付けた万智さんは、身近な3か所のホールに行ってお話を聞いたり、確かめたりしながら、残響時間の違いと音の響き方(響かせ方)に関係があることに気づき、ていねいにまとめることができました。音楽を奏でる一つ一つの音の響きを大切に追求した素敵な作品です。



『日本は戦争に動物を使った』

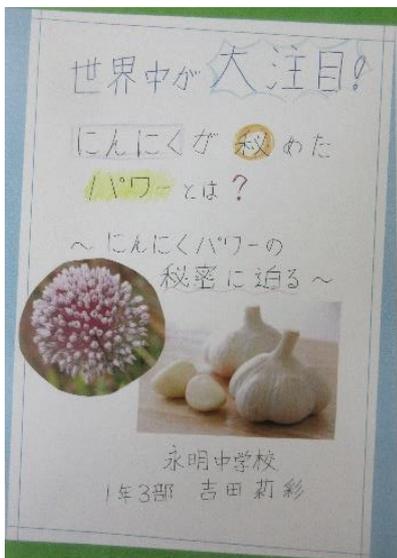
～どうして動物を使ったの?～』

北部中学校 1年 ^{おおくぼ}大久保 ^{つむぎ}紬 さん

「動物」という視点から戦争を考えさせられる調べ学習です。図書館での司書さんとの話と自分が読書の中で出会った話とが結びつき、「戦争に使われた動物」についての疑問が膨らんだ紬さん。

資料をていねいに読み込んで、毛皮や食肉として使われただけでなく、人を傷つけるための動物実験に使われていたことを知り、怒りと悲しみを感じながら、追究を続けていきました。

動物を介して戦争を考えることで、人間と動物との関係のあり方をじっくりと考え、まとめられた作品です。



『世界中が大注目! にんにくが秘めたパワーとは?』

～にんにくパワーの秘密に迫る!～』

永明中学校 1年 ^{よしだ}吉田 ^{りさ}莉彩 さん

新聞に入っていたチラシの『にんにくパワー』の文字。そこから、にんにくがなぜ体に良いのかということに疑問を持った莉彩さんは、「にんにくにはスタミナをつける成分が入っているが、強烈なおいには健康によくない」と予想をたてて、調べ始めました。

植物としての特性や効用を調べる過程で、においはガン予防と関係があることや、においには、他にも大切な働きがあることに気づき、さらに疑問を膨らめています。茅野市出身のにんにく研究の第一人者に話を聞き、自分の考えをより深められた調べ学習になっています。